

項目	内容
供給	1. 国内 (1) 生産・処理動向調査((一社)日本食鳥協会令和7年8月末実施)によると、7月の推計実績は処理羽数63,155千羽(前年比103.8%)、処理重量187.4千ト(同102.6%)となった。処理羽数が前月時点の計画値から1.6%の上方修正、処理重量も1.1%上方修正となった。産地からは暑さの影響で鶏の食欲が低下し、増体不良による歩留まりの低下や内臓廃棄が増加しているという報告が多かったが、処理羽数・重量共に前月時点の予測を上回り、前年同月比でもプラスの結果となった。現在の育種は以前に比べ暑さに強くなっているという声もあり、また、年々猛暑日が増加していることもあって各社が暑さ対策にかなり力を入れていたことで、生産成績の低下を食い止めることができたものとみられる。とはいえ、8月は各地で過去にない高温を記録した日も多く、現時点での予測は処理羽数が前年同月比101.4%、処理重量は102.3%の見通しと、前月時点の予測から処理重量は下方修正された。 工場の人員については引き続き不足が課題となっている中、副産品(小肉・剣状軟骨など)・手羽中半割等の1.5次加工品は機械を導入し製造している産地が見られる。この省人力化の流れは、今後他産地にも広がっていくと思われる。
	2. 輸入 (1) 財務省の貿易統計によると、令和7年7月の鶏肉(原料肉)の輸入量は前月から▲3.3千トの48.2千ト、国別ではブラジルが前月▲2.5千トの32.0千ト、タイが▲0.7千トの15.9千トとなった。(独)農畜産業振興機構(ALIC)によると今後の見通しは、輸入量は8月は57.3千ト(前年比101.0%)、9月は56.8千ト(同115.6%)と増加する予測である。要因としては「輸入量は、持続する国産鶏肉の相場高騰による輸入品への引き合いの高まり等を受けて、8月はわずかに、9月はかなり大きく、いずれも前年同月を上回ると予測する。なお、3カ月平均でも、前年同期をわずかに上回ると予測する。」とされている。 (2) 令和7年7月の鶏肉調整品の輸入量は前月から+6.0千トの50.0千ト、国別では中国が+3.6千トの20.6千ト、タイが+2.3千トの28.4千トとなった。国内の働き手不足やコロナ禍が明けた影響による外食筋の回復、共働き世帯の増加に伴い中食・総菜向け等の引き合いも継続している。 (3) ㈱食品産業新聞社発行の畜産日報によると、7月の輸入鶏肉(モモ肉)の価格はブラジル産で440円/kgから460円/kg(前年加重価格410円/kg)、タイ産が500円/kg中心(同480円/kg)となっている。要因としては「6月のブラジルの船積み数量が4.7万tに上っているものの、現地では輸入停止されていた韓国向けの生産が再開されており、日本向け生産は大分絞られているもよう。このため、川下を中心に先高感が出始めている。」とされている。
	1. 家計消費 (1) 総務省統計局発表の家計調査報告(全国・二人以上の世帯1世帯あたり)によると、令和7年7月の生鮮肉消費(購入)は数量4,031g(前年比103.7%)、金額6,493円(同105.0%)と、数量・金額はともに前年を上回った。鶏肉は数量1,436g(同103.7%)・金額1,538円(同109.0%)・単価107.15円/100g(前年同月+5.3円)といずれも前年を上回った。また、牛肉・豚肉も同様に数量・金額は前年を上回っている。調理食品は共働き世帯の増加に伴う需要は底堅いようだ。外食においては、ほぼコロナ禍前の水準程度まで回復したものの、統計外となるインバウンドによる集客もあることからエリア・業態によって濃淡があるようだ。
需要	2. 量販・卸 (1) 一般社団法人全国スーパーマーケット協会の販売統計調査によると、令和7年7月の食品売上高は全店ベースで前年比106.1%と前年を上回り、生鮮3部門の売上高は全店ベースで同103.8%、既存店ベースは同102.5%。畜産部門の売上高は約1,195億円(全店ベース同104.4%、既存店ベース同103.1%)となった。また同社が取りまとめたスーパーマーケット景気動向調査によると、「相場の高騰傾向が続いており、牛肉の不振と豚肉・鶏肉への需要シフトが継続している。牛肉は国産・輸入共に高値推移が続き苦戦傾向だが、猛暑を追い風に週末のBBQ、焼肉需要は好調、味付け肉の動きもよかった。豚肉は冷しゃぶ用が伸長も、国産豚の価格高騰が続き、輸入豚が好調に推移した。鶏肉も価格高騰が続き、数量が伸び悩んだ。特売が打てない、利益確保に悩む、などのコメントが多くみられた。」と報告されている。
	3. 業務・加工筋 (1) 日本ハム・ソーセージ工業協同組合調べによると令和7年7月度の鶏肉加工品仕向肉量は、前年比100.4%の5.0千トとなった。うち国内品は同98.6%の3.9千ト、輸入品については同107.3%の1.1千トと国内品は前年を下回り、輸入品は前年を上回る結果となった。
	1. 令和7年7月 (1) (独)農畜産業振興機構(ALIC)の7月末時点推定期末在庫では国産31.3千ト(前年比88.2%)、輸入品124.1千ト(同92.9%)、合計で155.4千ト(同91.9%)となった。
在庫	2. 見通し (1) (独)農畜産業振興機構(ALIC)が発表した鶏肉需給表では、7月の出回り量は国産品141.4千ト(前年比100.3%・前月差+2.5千ト)、輸入品53.0千ト(同103.3%・同+2.1千ト)、合計194.3千ト(同101.1%・同+4.5千ト)となり、前月からは国産品・輸入品の出回り量が増加した。7月以降、「出回り量は、8月、9月ともに前年同月をわずかに上回ると予測する。期末在庫は、8月はかなりの程度、9月はやや、いずれも前年同月を下回ると予測する。なお、過去5カ年の同月平均との比較では、8月は前年同月をわずかに下回る一方、9月は前年同月をわずかに上回る(8月:-0.5%減、9月:+1.7%増)と予測する。」とされている。
	1. 令和7年8月動向 (1) 令和7年8月の月平均相場は、モモ肉778円/kg(前月差▲25円)・ムネ肉568円/kg(同+13円)正肉合計で1,346円/2kgと前月差▲12円、前年同月差+374円となった。㈱食品産業新聞社発行の畜産日報によると、「国産生鮮物は、モモ、ムネともに引き続き高値にあるため、末端が付いてこられず荷動きが鈍っている。モモ凍結品の価格も下げ基調にあり、市中には投げ玉が散見される。一方、輸入品は安定した出回りとなっている。8月、9月とブラジル産を中心に多めの入荷が見込まれるものの、入船のタイミングによっては手前の在庫が薄くなるなど、全体的に余剰感は見られないようだ。」と報告されている。
相場	2. 見通し (1) 生産・処理動向調査によると、8月の生産状況は入雛羽数・処理羽数・処理重量は前年比増の見込みとなっている。鶏肉相場については、モモ肉は、量販店が輸入品(ブラジル産・タイ産解凍商品)の販売にシフトしていること、国産モモ肉店頭売価改定による販売不振が影響し、徐々に下げ相場となってきている。ムネ肉は4月以降、依然高止まりが続いている。量販店での店頭売価改定により、牛・豚のミンチや、外国産豚ロース等の比較的安価な商品へ売り場シフトが見受けられる。一部ではあるが、輸入品の鶏肉・豚肉との売価に近づけるため国産鶏モモ肉解凍商品を販促する店舗も見受けられ、今後の生鮮国産鶏モモ肉の需給動向に不安感が出てきている。 このような事を踏まえ今後の相場は、モモ肉は9月以降も需要が回復するまでは右肩下りの傾向が続き、ムネ肉は一部輸入品に代替している加工メーカーもあると聞くが550円前後で推移すると予測する。

実績												
生産状況 単位:千羽、千ト、%												
	R6年累計(推計)		R7年7月実績(推計)		R7年8月計画		R7年9月計画		R7年10月計画			
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比		
入雛羽数	791,537	101.1%	66,201	102.8%	68,753	100.4%	68,752	104.7%	72,398	100.1%		
処理羽数	750,759	100.9%	63,155	103.8%	59,612	101.4%	62,382	102.4%	65,100	100.8%		
処理重量	2,273.2	101.5%	187.4	102.6%	176.2	102.3%	184.3	102.6%	195.4	100.4%		
※参考資料:㈱全国食鳥新聞社発行「PMN」												
輸入動向 単位:千ト、%												
品名	鶏肉			調製品			合計			比率		
履歴	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	鶏肉	調製品	
R5年累計	584.9	574.5	101.8	478.0	525.8	90.9	1,062.9	1,100.3	96.6	55.0	45.0	
R6年累計	639.2	584.9	109.3	503.2	478.0	105.3	1,142.4	1,062.9	107.5	56.0	44.0	
R7年3月	42.3	52.7	80.3	43.5	38.3	113.6	85.8	91.0	94.3	49.3	50.7	
R7年4月	47.7	52.0	91.7	43.3	44.6	97.0	91.0	96.7	94.2	52.4	47.6	
R7年5月	48.5	53.3	91.1	43.3	40.8	106.1	91.8	94.0	97.6	52.9	47.1	
R7年6月	51.6	49.4	104.4	44.0	42.6	103.4	95.6	92.0	103.9	53.9	46.1	
R7年7月	48.2	51.8	93.1	50.0	47.5	105.3	98.3	99.3	99.0	49.1	50.9	
※参考資料:(独)農畜産業振興機構「鶏肉需給表」												
鶏肉の消費動向 単位:グラム、円、%												
履歴	数量			金額			相場(年別・暦年)			単位:円		
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	モモ肉			ムネ肉	計	
R5年平均	1,495	1,510	99.0	1,547	1,448	106.8	H29年			626	315	941
R6年平均	1,552	1,495	103.8	1,586	1,547	102.5	H30年			595	282	877
R7年3月	1,650	1,614	102.2	1,719	1,650	104.2	R元年			585	243	828
R7年4月	1,549	1,509	102.7	1,630	1,539	105.9	R2年			614	269	883
R7年5月	1,564	1,569	99.7	1,664	1,585	105.0	R3年			641	313	954
R7年6月	1,458	1,568	93.0	1,572	1,524	103.1	R4年			662	348	1,010
R7年7月	1,436	1,385	103.7	1,538	1,411	109.0	R5年			730	395	1,125
※参考資料:総務省統計局HP 家計調査報告(全国・二人以上の世帯1世帯あたり)												
在庫状況(推定) 単位:千ト、%												
履歴	国産			輸入品			合計					
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比			
R7年3月	25.8	36.9	69.9	131.2	129.1	101.7	157.0	166.0	94.6			
R7年4月	25.0	35.5	70.3	127.4	127.1	100.3	152.4	162.6	93.8			
R7年5月	27.0	36.3	74.4	128.2	131.0	97.8	155.2	167.3	92.7			
R7年6月	29.8	36.7	81.2	128.8	133.1	96.8	158.6	169.8	93.4			
R7年7月	31.3	35.5	88.2	124.1	133.6	92.9	155.4	169.1	91.9			
※参考資料:(独)農畜産業振興機構「鶏肉需給表」												
出回り量(推定) 単位:千ト、%												
履歴	国産			輸入品			合計					
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比			
R5年累計	1,689.0	1,683.1	100.4	606.3	563.3	107.6	2,295.4	2,246.5	102.2			
R6年累計	1,721.2	1,689.0	101.9	619.9	606.3	102.2	2,341.1	2,295.4	102.0			
R7年3月	146.5	141.8	103.3	50.3	47.7	105.4	196.7	189.5	103.8			
R7年4月	149.3	147.8	101.1	51.5	54.1	95.3	200.9	201.8	99.5			
R7年5月	144.3	146.4	98.6	47.8	49.3	97.0	192.1	195.7	98.2			
R7年6月	138.9	142.7	97.3	50.9	47.3	107.5	189.8	190.1	99.9			
R7年7月	141.4	141.0	100.3	53.0	51.3	103.3	194.3	192.3	101.1			
※参考資料:(独)農畜産業振興機構「鶏肉需給表」												
相場(月別) 単位:円、%												
品名	モモ肉			ムネ肉			正肉合計					
履歴	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比			
R5年度平均	700	702	99.7	384	371	103.5	1,084	1,073	101.0			
R5年平均	730	662	110.3	395	348	113.5	1,125	1,010	111.4			
R6年平均	655	730	89.7	369	395	93.4	1,024	1,125	91.0			
R7年5月	842	631	133.4	497	354	140.4	1,339	985	135.9			
R7年6月	832	619	134.4	530	354	149.7	1,362	973	140.0			
R7年7月	803	613	131.0	555	355	156.3	1,358	968	140.3			
R7年8月	778	613	126.9	568	359	158.2	1,346	972	138.5			
R7年9月	(750)	627	119.6	(550)	368	149.5	(1,300)	995	130.7			
R7年10月	(740)	652	113.5	(540)	379	142.5	(1,280)	1,031	124.2			
※()は見直し												